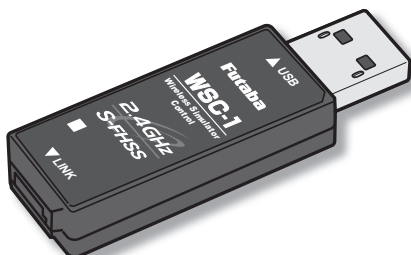


Futaba WSC-1



ワイヤレス シミュレータ コントロール Wireless Simulator Control



取扱説明書

注意

Futaba S-FHSS システムは、Futaba FASST/FASSTest / T-FHSS システムとは互換性がなく動作しません。

※ 本説明書に記載の Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

この度は、S-FHSS 2.4GHz システム対応ワイヤレスシミュレータコントロール WSC-1 をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。この WSC-1 は、S-FHSS 2.4GHz システム Futaba 製送信機を、ワイヤレスでリアルフライト RF8/9 以降のコントローラとして使用を可能にする USB インターフェースです。(S-FHSS 2.4GHz システム Futaba 製送信機を Windows® 用のゲームコントローラとしても使用できます。)

仕様 (仕様・規格は技術開発に伴い予告なく変更することがあります。)

- 対応 OS : Windows®11/10/8.1
- 接続 : USB シリーズ A コネクタ
- 動作電圧 : 5.0V ± 0.2V (USB パスパワー)
- 消費電流 : 20mA
- 動作環境 : 温度 -10 ~ +45℃
- 寸法 : 18.2 × 56.5 × 9.0 mm
- 重量 : 7.6 g
- 到達距離 : 見通しの良い場所で約 10 m (条件により異なります。)

※パソコン本体に USB ポート (タイプ A) が必要です。

- この WSC-1 は Futaba 製 S-FHSS システムの送信機およびモジュール (TM-FH) に対応します。
- WSC-1 をコントローラの USB インターフェースとして使用できるリアルフライトは、RF8 (最終バージョンにアップデート必須) 以降の製品になります。それ以前の製品では使用できません。

使用上の注意

⚠ 2.4GHz システム使用環境についての注意事項

2.4GHz を利用する他社無線、または電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害の発生する場所での使用は控えてください。(環境により電波が届かない場合があります。)

⚠ 警告

❌ 分解しない。本製品のケースを開けないでください。
■ご自分でケースを開けると、基板を破損をする原因となります。この場合基板アッセンブリ交換、または修理不能となります。また、火災、感電の恐れがあります。

❌ 水などの液体で濡らしたり、濡れた手で触らないでください。
■水滴が内部に入ると、故障の原因となります。また、火災、感電の恐れがあります。

⚠ 注意

❌ 本製品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。また、本製品の上に物を置かないでください。
■本製品の故障の原因となります。

❌ 接続コネクタに手を触れないでください。また、接続コネクタにほこり等が付いたままの状態では接続しないでください。
■本製品の故障の原因となります。

❗ 使用されるパソコンおよび周辺機器の取り扱い、各製品の説明書および、提示する注意、警告に従ってください。

表示の意味

- いつも安全に製品をお使いいただくために、以下の表示のある注意事項は特にご注意ください。

⚠ 警告

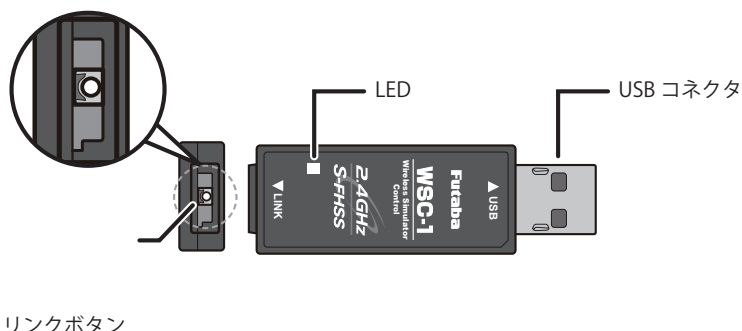
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者または他の人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。または、軽傷、物的損害が発生する可能性が高い場合。

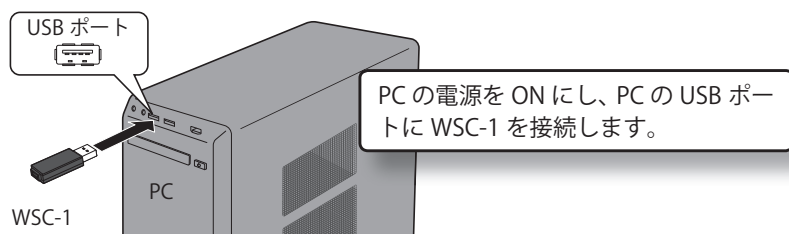
⚠ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者または他の人が重傷を負う可能性は少ないが、傷害を負う危険が想定される場合。ならびに物的損害のみの発生が想定される場合。

図記号 : ❌ : 禁止事項
❗ : 必ず実行する事項

WSC-1 の各部名称と接続





Windows® 上で WSC-1 の確認

● Windows11 の場合

「スタート」ボタン→「設定」→「Bluetooth デバイス」→「すべてのデバイスを表示」→をクリックして、「その他のデバイス」の中の「WSC-1」アイコンを確認します。



● Windows10 の場合

「スタート」ボタン→「Windows システムツール」→「コントロールパネル (アイコン表示)」→「デバイスとプリンター」をクリックして、「デバイスとプリンター」画面を表示します。

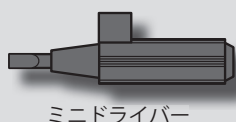
● Windows 8.1 の場合

「スタート」ボタンを右クリック→「コントロールパネル (アイコン表示)」→「デバイスとプリンター」をクリックして、「デバイスとプリンター」画面を表示します。

リンク操作

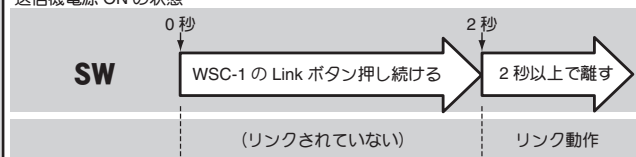
リンクボタンにより使用する S-FHSS 2.4GHz システムの送信機とリンク操作を行います。

- 1 送信機と WSC-1 を 20cm 以内に近付けます。
- 2 送信機の電源を ON。
- 3 WSC-1 の LED 表示を確認します。
※ LED が緑点滅します。
※ この時点で LED が緑点灯する場合は既にリンク操作が完了していますので、以下の操作の必要はありません。
- 4 WSC-1 のリンクスイッチを付属のミニドライバーで押して、LED が赤の点滅に変わったら離します。
LED が緑点灯に変わると読み込みが完了します。



WSC-1 リンク操作について

送信機電源 ON の状態



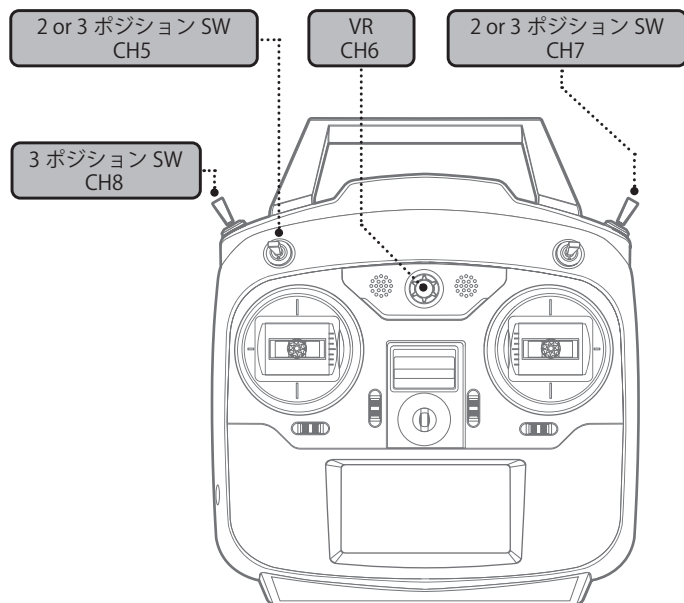
※リンク操作は送信機を 20cm 以内に近づけて行ってください。

※リンク操作時に、周囲で他の S-FHSS 2.4GHz システムが使用されている場合、それらの送信機のうちの 1 台とリンクしてしまう場合があります。このためリンク操作が完了したら、必ず動作を確認してください。

WSC-1 LED 表示

緑色	赤色	状 態
消灯	点灯	無信号時
点灯	消灯	通常動作時
消灯	点滅	リンクボタン押下時
点滅	消灯	受信信号の ID が不一致
交互点滅		WSC-1 内部の異常 (メモリー等) 電源再投入で回復できない場合は弊社カスタマーサービスへ点検・修理依頼してください。

送信機の設定

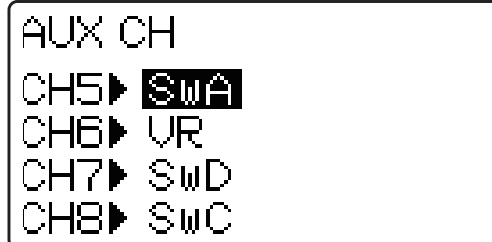


S-FHSS 2.4GHz システム Futaba 製送信機を、リアルフライトの InterLink Controller の代わりとして使用する場合、送信機の CH5 以降のファンクションを図のように SW/VR に設定します。

【参考例】 T6K の場合

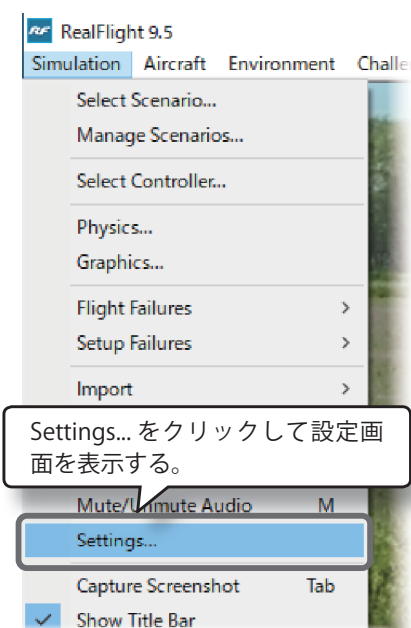
AUX CH (AUX チャンネル) 機能で SW/VR 設定します。

T6K の AUXCH 機能画面



※ SW/VR の詳しい設定方法は、ご使用になる送信機の取扱説明書をお読みください。

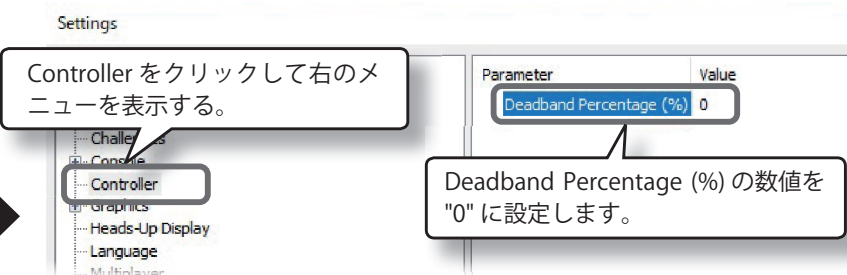
コントローラデッドバンドの設定



Settings... をクリックして設定画面を表示する。

WSC-1 で S-FHSS 2.4GHz システム Futaba 製送信機をリアルフライトのコントローラとして使用する場合、Controller オプションの Deadband Percentage (%) 数値を "0" に設定し、デッドバンドを無くす必要があります。

- 1 リアルフライトを起動します。
- 2 Simulation (シミュレーション) メニューから "Settings..." を選び、設定画面を表示します。
- 3 Settings 画面の Controller をクリックして、右側の設定メニューを表示。
- 4 Deadband Percentage (%) の数値を "0" に設定します。



Controller をクリックして右のメニューを表示する。

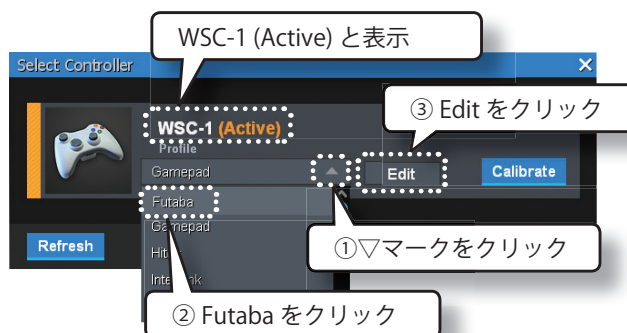
Deadband Percentage (%) の数値を "0" に設定します。

コントローラの設定

リアルフライトのコントローラとして使用する場合、Futaba 製送信機を以下の手順で登録します。



Select Controller... をクリックしてコントローラ設定画面を表示する。

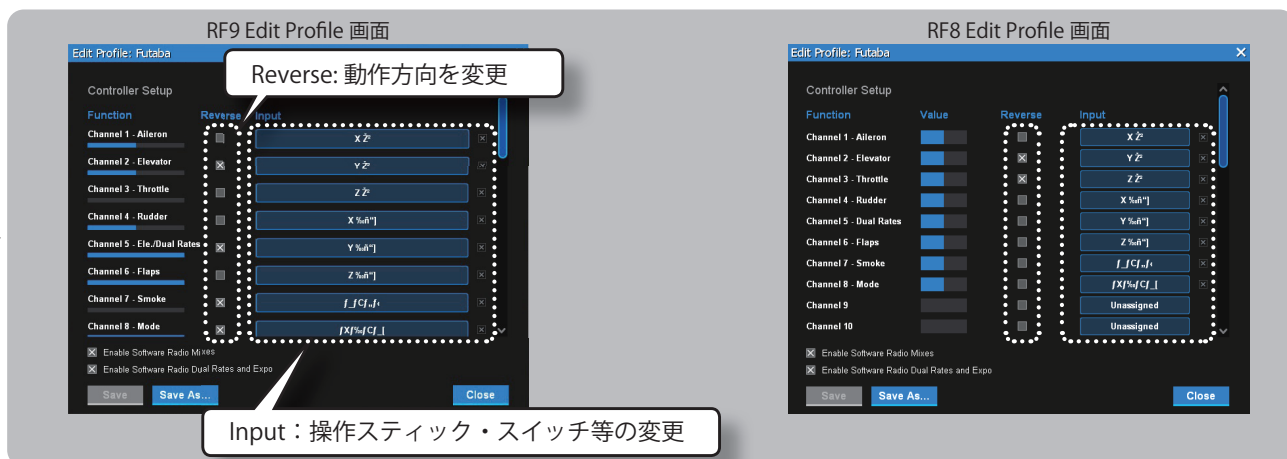


WSC-1 (Active) と表示

③ Edit をクリック

① ▽マークをクリック

② Futaba をクリック

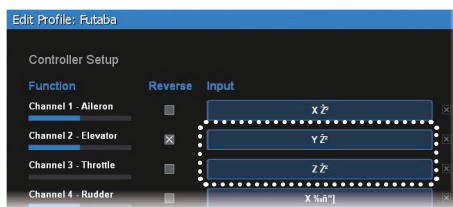


●スティックモード変更（モード1→モード2）：Input

スティック動作をモード1から2へ変更する場合、最初にエレベーターチャンネルの操作軸を変更します。Channel 2 - Elevator 表示の右端にある [Input] をクリックします。Input Detection 画面が表示しますので、送信機のモード2のエレベータースティックを操作します。エレベーターの設定が完了すると、Edit Profile 画面に戻ります。続けて同じ操作をスロットル側で行います。これでモード変更は完了です。

注意

RF9以降のバージョンは、Channel 7以降のチャンネルの [Input] をクリックしないでください。クリックすると、飛行機のスモークのスイッチまたはヘリのスロットルホルドスイッチのいずれかが動作しなくなります。クリックした場合は、保存せずに画面を閉じて再度設定してください。



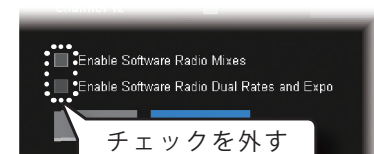
●動作方向の設定：Reverse

スティック、スイッチ等を操作し動作方向の変更が必要する場合、Reverse のチェックボックスをクリックして、マークを付けたり消したりします。

●送信機側で設定したミキシング、D/R、EXPO データを使用する場合

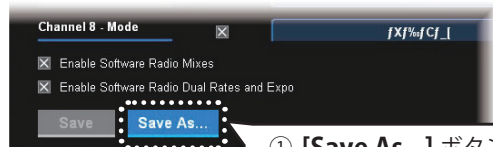
- Enable Software Radio Mixes チェックボックス -----OFF
- Enable Software Radio Dual Rates and Expo チェックボックス -----OFF

※ この場合は、送信機本体の AUX CH（AUX チャンネル）機能で SW/VR の設定はしません。
※ 詳しい説明は、リアルフライトの取扱説明書をお読みください。

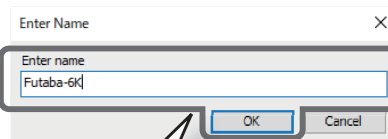


●設定したコントローラを登録 Save As...（別名で保存）

設定が終了後、[Save As...] ボタンをクリックします。Enter Name ダイアログボックスが表示されますので、自分が解りやすい名前を入力して [OK] ボタンをクリックすると登録が完了します。



① [Save As...] ボタンをクリック



- ② キーボードから半角英数文字で新しい名前を入力
③ [OK] ボタンをクリック

●コントローラのキャリブレーション

コントローラに使用する送信機のスティックニュートラル位置や動作範囲を [Calibration] で較正する必要があります。詳しくはリアルフライトの取扱説明書をお読みください。

修理を依頼されるときは

- 修理を依頼される前に、もう一度この取扱説明書をお読みになってチェックしていただき、なお異常のあるときは無線機器ラジコンカスタマーサービスまで修理を依頼してください。
- 修理・アフターサービス、プロポに関するお問い合わせは弊社ラジコンカスタマーサービスへどうぞ
＜受付時間／9:00～12:00・13:00～17:00、土・日・祝日・弊社休日を除く＞
双葉電子工業（株）ラジコンカスタマーサービス： TEL.(0475)32-4395 〒299-4395 千葉県長生郡長生村藪塚 1080